

令和7年度 糖尿病予防指導コース 開催報告

令和7年9月15日(月・祝)～11月14日(金) オンデマンド配信
令和7年11月15日(土)、16日(日) 集合型研修

糖尿病の病態と歯科の深い関連性を学ぶ

糖尿病予防で重要視されている歯周病予防とその管理において、歯科衛生士はキーとなる医療職として期待されている。本コースは、「糖尿病の病態を理解し、糖尿病予防の歯科保健指導および管理にかかわる専門的な知識・技術を習得する。地域社会に貢献できる医学的、歯学的な知識と歯科保健学的技能を習得する。」を目標に開催された。オンデマンド配信では多職種を含む各分野の講師の講義を受講した。

指導プランの作成と活発な症例検討会

世界糖尿病デーに合わせて11月14日、15日に福岡県で集合型研修を実施した。1日目はアイスブレイクと3つのグループワークを通して、事前学習の成果を共有し、糖尿病患者への口腔保健指導プランの作成と発表を行い、活発な意見交換と交流が図られた。2日目は、福岡市歯科医師会のご厚意のもと、市内の糖尿病教室に会場を移し、来場された一般市民を対象に口腔保健指導の実技研修を行った。

指導への自信と、切磋琢磨できる仲間の存在

受講後のアンケートでは、オンデマンド研修だけでなく集合型研修を行ったことで「保健指導への自信がついた」、「職域の違いによる指導内容の差を知り視野が広がった」、「仲間ができた」等の感想が寄せられた。

本セミナーを通して、糖尿病と歯科との深い関連性についての理解を深めるとともに、歯科衛生士として患者に寄り添い、具体的な指導を行いながら糖尿病の重症化予防に取り組む重要性を実感できたのではないだろうか。

本セミナーでの学びを、今後の臨床の場でぜひ活かしていただきたい。

